

臨床研究「脳・心血管救急患者の病院前診断率向上のためのスケールの開発」への協力について

2018年7月1日

現在、当院は千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学が行っている臨床研究「脳・心血管救急患者の病院前診断率向上のためのスケールの開発」に協力しています。緊急の治療を要する代表的な疾患である脳卒中（脳梗塞，脳出血，くも膜下出血）や急性冠症候群（急性心筋梗塞や狭心症）に罹患した患者さんを，より迅速に最も適切な医療機関へ搬送できるようにすることを目的に，この研究では脳卒中や急性冠症候群の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のためにどのように使われているのかについて詳しく知りたい方は，下記窓口にご連絡下さい。

1. 研究課題名

「脳・心血管イベントを生じた救急患者の病院前診断率向上を目的としたスケール開発」

2. 研究の目的

「脳卒中や急性冠症候群の患者さんを救急現場でより迅速かつ正確にスクリーニングし，迅速かつ適切な救急搬送に役立つ診断ツールを開発すること」

3. 研究の方法

通常 of 搬送や診療の中で得られた情報（年齢，性別，既往歴，症状および身体所見，診断名，転帰など）を，データ収集シートにより収集し，千葉大学救急集中治療医学に保管されているデータベースに登録します。個人情報 は匿名化され，個人を特定できるような情報は一切公開されません。

4. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

下記窓口に御連絡いただければ，より詳しくご説明いたします。ご協力頂けない場合には，原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をいたしますので，遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年 12 月 22 日）に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

講師 中田 孝明, **助教** 服部 憲幸 043 (222) 7171 内線6365